

## 平成22年度実験実習機器部門利用者会議議事概要

- ・日 時 平成22年6月11日(金) 16:00～17:00
- ・場 所 挾間キャンパス 研究棟1階会議室
- ・出席者 守山研究支援分野長、山岡実験実習機器部門長、谷川准教授ほか計30名
- ・司会進行 守山研究支援分野長、山岡実験実習機器部門長、谷川准教授

### 《議 題》

#### 1・平成21年度活動報告及び会計報告について

山岡実験実習機器部門長より、学長裁量経費(アミノ酸分析装置)採択の報告。

谷川准教授より、資料1に基づき平成21年度活動報告が及び主要機器の利用実績の説明。引資料2に基づき、平成21年度新規購入(設置)機器一覧のリストの説明。資料3に基づき、会計報告(本表は昨年度の利用者会議で要望があり作成)。

#### 2・その他

谷川准教授より、資料4に基づき実験実習機器部門の中の旧映像情報が全学研究推進機構の改組に伴い、学術映像部門へと独立したことの説明。

共焦点レーザー顕微鏡 **LSM5PASCAL** の保守について今後行うか利用者の意見を伺ったが、本日の利用者会議にヘビーユーザーが欠席ため、後日メールで意見を頂き決定することになった。

守山研究支援分野長より、院生棟4階生化学実験室(バイオラボ)については医学部と全学研究推進機構で共同して運営することが教授会で決定していることの説明を行った。平成21年度末に学長から臨時予算を頂き、実験機器を購入しており現在は未整備状態だが、ゲルドックだけは設置済みという報告があった。

その他利用者からの意見及び要望が以下のとおり寄せられた。

- アンケートを回答したのに自分の意見がHPに掲載されていない。
- 時間外や夜間の緊急連絡先を示してほしい。
- 共同利用の機器等を壊した場合の扱いはどのようになるか。
- 機器予約システムの利用の中で長期予約の目安を設けてほしい。
- 外部予算等を獲得して、利用料金(受益者負担金)を安価にして欲しい。

守山研究支援分野長からこれらの意見を真摯に受け止めて、今後の実験実習機器部門の活動を行っていくという説明があり、了承された。

以上